

第 26 回 造血器腫瘍研究会プログラム



会 期 : 2022 年 1 月 21 日 (金) ・ 22 日 (土)

会 場 : WEB 上

世話人 : 東北大学大学院医学系研究科 清水律子

事務局

第 26 回 造血器腫瘍研究会事務局

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町 2 - 1

東北大学大学院医学系研究科 分子血液学分野

E-mail : hematopoietic.tumor@gmail.com

開催形態と参加方法

本研究会は、コロナウィルス感染蔓延のため WEB 開催となりました。

リモート会議（Zoom）にて開催いたします。

論文未発表データを発表していただくため、原則としてクローズドで行います。

*** 守秘義務の遵守をお願い致します（録音・録画・撮影等は禁止です）**

事前登録いただいた際に登録いただいたメインメールアドレスへ 1月20日17:00 までに URL をお送りします。会議 URL は、2 日間とも共通です。

ミーティングルームは、1月 21日（金）12:30、22 日（土）8 : 30 にオープンします。

フルネーム・所属機関での入室をお願い致します。（例：清水律子・東北大）

参加者は、ビデオ・マイク共に OFF にしてご参加ください。

質問はチャットにて受け付けます。質問内容を記入してください。挙手機能は使用致しません。（例：「〇〇〇〇について質問」など短く記入、または 質問内容を記入）

発表後に座長がチャットを確認し、質問者を指名、または 代読し発表者へ回答を依頼。

質問者はビデオ・マイクを ON にしてご発言ください。また、ご発言終了後はビデオ・マイクを OFF にしてください。

発表時間

発表時間は 12 分、質疑は 3 分です。

発表中の時間経過は「タイムキーパー」アカウントに、スポットライト設定で表示しております。もし時間表示が確認できない際は確認できるように画面設定してください。

10 分に 1 回、12 分（発表終了時）に 2 回、15 分（質疑応答終了時）に 3 回それぞれベルが鳴る設定になっておりますが、発表者の音声と重なると聞こえない場合もございますのでご注意ください。

前の演者の質疑応答が終了しましたら、ビデオ・マイク共に ON にしていただき、発表スライドの画面共有を行ってください。

発表、質疑応答が終了後は速やかに画面共有を解除してください。

プログラム一覧

1月21日(金)

- 12:55～13:00 開会の挨拶
- 13:00～14:05 造血制御
- 14:05～15:10 リンパ腫・リンパ球
- 15:10～15:30 休憩
- 15:30～16:20 CML・MPN
- 16:20～17:25 MDS
- 17:25～18:00 特別講演

1月22日(土)

- 09:00～09:50 薬剤耐性・シグナル
- 09:50～11:10 AML[Ⓐ]
- 11:10～11:30 休憩
- 11:30～12:50 AML[Ⓑ]
- 12:50～13:00 次期世話人の挨拶、閉会の挨拶

【1日目】

■ 12:55 ~13:00 開会の挨拶 清水 律子

■ 13:00~14:05 造血制御（座長：岩間 厚志）

1. 変異タンパク質による GATA2 の機能障害が惹起する免疫細胞産生異常

長谷川敦史（はせがわあつし）¹、保坂優奈¹、山本雅之²、清水律子¹

（¹東北大学医学系研究科 分子血液学分野、²東北大学医学系研究科 医化学分野）

2. 単核貪食細胞分化における Irf8 エンハンサー群の動的制御機構の解析

西村耕太郎（にしむらこうたろう）¹、西山晃¹、山崎貴弥¹、田村智彦¹

（¹横浜市立大学 免疫学教室）

3. 変異胚性幹細胞株のスクリーニングにより同定した血球分化に重要な新規遺伝子の解析

中井りつこ（なかいりつこ）¹、横田貴史¹、数藤孝雄¹、徳永正浩^{1,2}、竹田潤二³、保仙直毅¹

（¹大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学、²市立吹田市民病院 血液内科、³大阪大学 微生物病研究所）

4. トリソミー 8 造血幹細胞の形質転換の分子基盤解析

白潔（Bai Jie ばいじえ）¹、荒木喜美¹、久保田翔¹、横溝貴子¹、小川峰太郎¹、宇野愛海²、香月康宏³、押村光雄³、指田吾郎¹

（¹熊本大学、²東京薬科大学、³鳥取大学）

■ 14:05~15:10 リンパ腫・リンパ球（座長：原田 浩徳）

5. EBV 関連リンパ腫形成における sPLA₂発現と細胞外小胞の膜リン脂質修飾

工藤海（くどうかい）¹、三木寿美²、村上誠²、幸谷愛¹

（¹東海大学 先端医療科学、²東京大学）

6. アグレッシブ NK 細胞白血病における肝臓微小環境の役割

亀田和明（かめだかずあき）¹、幸谷愛²

（¹東海大学医学部基盤診療学系先端医療科学、²東海大学）

7. クローン造血由来胚中心 B 細胞は T 細胞リンパ腫の腫瘍化に寄与する

藤澤学 (ふじさわまなぶ)¹、Tran B. Nguyen¹、安部佳亮¹、末原泰人¹、須摩桜子¹、三浦史仁²、伊藤隆司²、鈴木絢子³、鈴木穰³、末永孝生⁴、千葉滋¹、坂田 (柳元) 麻実子¹
(¹筑波大学医学医療系 血液内科、²九州大学大学院医学研究院 医化学分野、³東京大学大学院新領域創成科学研究科、⁴亀田総合病院 血液腫瘍内科)

8. シングルセル解析による T 濾胞ヘルパー細胞リンパ腫の免疫プロファイルおよび腫瘍細胞不均一性の解明

須摩 桜子 (すまさくらこ)¹、藤澤学¹、安部圭亮¹、末原泰人¹、日下部学¹、梶大介²、杉尾健志³、加藤光次³、赤司浩一³、末永孝生⁴、中村直哉⁵、鈴木絢子⁶、鈴木穰⁶、千葉滋¹、坂田 (柳元) 麻実子¹
(¹筑波大学血液内科、²虎の門病院、³九州大学、⁴亀田総合病院、⁵東海大学、⁶東京大学)

■ 15:10~15:30 休憩

■ 15:30~16:15 CML、MPN (座長: 稲葉 俊哉)

9. The RNA binding protein Nucleolin is essential for stem cell maintenance in myeloid leukemia

服部鮎奈 (はっとりあゆな)¹、伊藤貴浩¹
(¹京都大学)

10. DBHS ファミリータンパク質による白血病の維持

山本佳輝 (やまもとよしき)¹、伊藤貴浩¹、服部鮎奈¹
(¹京都大学ウイルス・再生医科学研究所)

11. eIF4B は CAMK2G の標的であり、骨髄線維症の進展に寄与する

佐々木謙 (ささきけん)¹、小川覚之²、正本庸介¹、水野秀明¹、黒川峰夫¹
(¹東京大学医学部附属病院血液腫瘍内科、²獨協大学)

■ 16:15~17:20 MDS (座長 : 幸谷 愛)

12. CRISPR-Cas9 スクリーニングによるメチル化阻害剤抵抗性に関わる遺伝子の探索

海渡智史 (かいとさとし)¹、中島やえ子¹、大島基彦¹、岩間厚志¹

(¹ 東京大学医科学研究所 幹細胞分子医学分野)

13. HMGA2 高発現 MDS クローンによる NETosis を介した器質化肺炎発症機序

松沼菜摘 (まつぬまなつみ)¹、林嘉宏¹、青柳泰成¹、原田結花²、原田浩徳¹

(¹ 東京薬科大学 生命科学部 腫瘍医科学研究室、² がん・感染症センター都立駒込病院)

14. Samd9/9L 症候群における 7q-/MDS 多発メカニズムの基礎検討

長町安希子 (ながまちあきこ)¹、金井昭教²、平川真弓³、伊川友活³、神力悟⁴、松井啓隆⁴、稲葉俊哉¹

(¹ 広島大学原爆放射線医科学研究所、² 東京大学、³ 東京理科大学、⁴ 熊本大学)

15. 過剰なミトコンドリア断片化に伴う炎症性シグナル経路の活性化が MDS 病態発症の引き金となる

林嘉宏 (はやしよしひろ)¹、青柳泰成¹、松沼菜摘¹、貞任大地¹、原田結花²、原田浩徳¹

(¹ 東京薬科大学 生命科学部 腫瘍医科学研究室、² がん・感染症センター都立駒込病院)

■ 17:20~17:55 特別講演 (座長 : 清水 律子)

東北大学大学院医学系研究科・教授、東北メディカルメガバンク機構・機構長 山本雅之

GATA 転写因子群と赤血球分化

(GATA Transcription Factors and Erythroid Differentiation)

【2日目】

■09:00～09:50 薬剤耐性、シグナル・代謝・治療（座長：指田 吾郎）

16. mTOR 複合体による白血病の治療耐性制御機構の解明

上野将也（うえのまさや）¹、平尾敦¹

（¹金沢大学 がん進展制御研究所 遺伝子・染色体構築研究分野）

17. 成人 T 細胞白血病／リンパ腫に対する DNA 脱メチル化剤と EZH 阻害剤の併用効果と
その標的因子 DUSP5 の機能解析

倉橋祐樹（くらはしゆうき）¹、吉田奈央¹、嬉野博志²、蒲池和晴²、山本雄大¹、渡邊達郎¹、中村秀明¹、末岡榮三朗¹、木村晋也²

（¹佐賀大学医学部 創薬科学共同研究講座、²佐賀大学医学部 創薬科学共同研究講座 血液・呼吸器・腫瘍内科）

18. □演題発表キャンセル

■09:50～11:10 AML[Ⓐ]（座長：松井 啓隆）

19. 有糸分裂制御は急性骨髄性白血病における DNA 脱メチル化薬の主要な耐性機構である
藪下知宏（やぶしたともひろ）¹、中西真²、北村俊雄²、合山進²

（¹東京大学医科学研究所細胞療法部、²東京大学、）

20. AML に対する経口 DNA 脱メチル化剤 OR-2100 と venetoclax の併用効果

蒲池和晴（かまちかずはる）^{1,2}、嬉野博志²、川副和紀²、倉橋佑紀²、山本雄大¹、渡邊達郎²、木村晋也²

（¹佐賀大学医学部 創薬科学共同研究講座、²佐賀大学医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科）

21. Nucleophosmin (NPM) 変異による急性骨髄性白血病の発症機構

相川祐規子（あいかわゆきこ）¹、北林一生¹

（¹国立がん研究センター）

22. Disruption of the PR-DUB complex attenuates myeloid leukemogenesis

竹田玲奈（たけだれいな）¹、浅田修平^{1,2}、合山進³、北村俊雄⁴

（¹東京大学医科学研究所細胞療法分野、²東京女子医科大学実験動物研究所、³東京大学先進分子腫瘍学分野、⁴東京大学医科学研究所細胞療法分野）

23. AML の発症と悪性化における E3 ユビキチンリガーゼ Cop1 の役割

角南義孝（すなみよしとか）¹、芳野聖子²、中村卓郎¹

（¹公益財団がん研究会がん研究所、²名古屋大学）

■ 11:10～11:30 休憩

■ 11:30～12:50 AML®（座長：木村 晋也）

24. GATA1 発現異常による AML 発症マウスモデルの白血病発症機序の解析

平野育生（ひらのいくお）¹、Jia Yao¹、成澤志保¹、清水律子¹

（¹東北大学医学系研究科 分子血液学分野）

25. MLL fusion 複合体による白血病化の分子機序

横山明彦（よこやまあきひこ）¹、高橋慧¹、宮本亮¹、金井昭教²、奥田博史¹、小俣洋介¹、川村猛²、松井啓隆³、稲葉俊哉⁴、高折晃史⁵

（¹国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点、²東京大学、³熊本大学、⁴広島大学、⁵京都大学）

26. RNA 結合タンパク質による MLL-AF4 の翻訳阻害メカニズム

奥田博史（おくだひろし）^{1,2}、宮本亮¹、高橋慧¹、市川珠理²、原田生起²、田村智彦²、横山明彦¹

（¹国立がん研究センター鶴岡連携拠点、²横浜市立大学大学院医学研究科 免疫学、³横浜市立大学 先端医科学研究センター）

27. DDX41 変異による造血器腫瘍の発症メカニズム

松井啓隆（まついひろたか）¹、神力悟¹、平山真弓¹、長町安希子²、横山明彦³、金井昭教⁴、稲葉俊哉⁵

（¹熊本大学 臨床病態解析学講座、²広島大学、³国立がん研究センター鶴岡連携拠点、⁴東京大学、⁵広島大学）

28. GATA2 エンハンサーの移動がもたらす EVI1 発現異常と白血病

鈴木未来子（すずきみきこ）¹、山本雅之²

（¹東北大学大学院医学系研究科 ラジオアイソトープセンター、²東北大学大学院医学系研究科 医化学分野）

■ 12:50～12:55 次期世話人の挨拶

■ 12:55～13:00 閉会の挨拶 北林 一生